

農林水産省平成23年度農山漁村6次産業化対策事業費補助金

－バイオマスコンビナート資源化工程の検証－

Research by the subsidy from The Ministry of Agricultural, Forestry and Fisheries (2011)

-Research on the recycling process of bio-mass industrial complex-

山口信哉、内沢秀光

青森県において新規の栽培作物となる「明日葉」について、今後の利用の参考とするため、乾燥条件の検討と成分の大部分を占める繊維の分析を行った。明日葉は、温暖な気候の作物であり、生育が早く、葉の収穫は年に10回前後可能である。この度、寒冷地でも栽培可能な品種が開発されたことより、青森県内において試験栽培されたものである。

明日葉の葉と茎をそれぞれ、送風式の乾燥機を用いて45℃で乾燥した。葉は水分85.7%が一晩で10.3%まで乾燥された。茎は水分92.7%であったが、7日間経っても柔らかく弾力性があり、水分が保持されたままであった。このとき、両者とも緑色を呈していた。茎を70℃乾燥したところ、一晩で水分8.3%まで乾燥されたが、色は茶色に褐変した。次に茎を6mmの大きさに輪切りに切断し、45℃で乾燥したところ、一晩で乾燥され、色は緑であった。

明日葉の繊維成分を測定したところ、新鮮重当たり、葉と茎のリグニンは2.0%と1.9%、ヘミセルロース量は2.0%と1.9%、セルロース量は3.3%と2.1%であった。

